

入札に関する質問、回答

工事名：戸切川千代丸・第二門前統合橋上部工工事

掲載日	質 問	回 答																																	
4/22	<p>1. ポストテンション桁製作工について 主桁の生コンクリート数量、縦締緊張に係る鋼材数量、型枠（鋼製）数量、および主桁の重量等の数量をご教授願います。また数量計算書の公表は可能でしょうか？</p> <p>2. 支承工について ゴム支承、防蝕アンカー材等の特別調査事前公表資料はありますか？</p> <p>3. 支承付属品（RDパッキン）について 本工事費内訳表と契約図面での記載寸法が相違しております。設計変更の対象となりますか？ 【内訳表：φ150×20】、 【図面：150×1150×20】</p> <p>4. 桁架設 架設機械据付・解体について 積算での使用クレーンはトラッククレーン・ラフタークレーンの何れでしょうか？</p> <p>5. 配布資料の（参考資料）参考図面 1 式 全 3 葉之内 3 号 架設計画図（参考図）の工程表に地覆工、舗装工、桁隠し工の工種の記載がありません。この工種を加えますと現在の工期内に収まらないと考えますが、工期の変更等は可能でしょうか。</p>	<p>1. 主な数量を以下に示します。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">数量</th> </tr> <tr> <th>G1、G5桁</th> <th>G2、G4桁</th> <th>G3桁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td> <td>m3</td> <td>32.4</td> <td>32.3</td> <td>32.3</td> </tr> <tr> <td>架設質量</td> <td>t</td> <td>81.0</td> <td>80.8</td> <td>80.8</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>m2</td> <td>155.8</td> <td>155.8</td> <td>155.8</td> </tr> <tr> <td>PC鋼より線</td> <td>kg</td> <td>1197.7</td> <td>1197.7</td> <td>1197.7</td> </tr> <tr> <td>足場設置月数</td> <td>月</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. ゴム支承については、単価の特別調査を行っていますので提示します。（別紙1） 防蝕アンカー材は見積価格です。</p> <p>3. 内訳の表記が正で、図面の表記が間違っていますので、修正したものを提示します。（別紙2（図面番号25、26号）</p> <p>4. ラフタークレーンです。</p> <p>5. 架設計画図の工程表は架設機器の供用日数を把握するものであります。地覆工、舗装工、桁隠し工の工種も含め工期末を令和6年12月27日としていますが、受注者の責めに帰することができない事由により工期内に工事を完成することができない場合は、土木工事共通仕様書「1-1-1-16 工期変更」に基づき、発注者に事前協議をお願いします。</p>	項目	単位	数量			G1、G5桁	G2、G4桁	G3桁	コンクリート	m3	32.4	32.3	32.3	架設質量	t	81.0	80.8	80.8	型枠	m2	155.8	155.8	155.8	PC鋼より線	kg	1197.7	1197.7	1197.7	足場設置月数	月	2	2	2
項目	単位	数量																																	
		G1、G5桁	G2、G4桁	G3桁																															
コンクリート	m3	32.4	32.3	32.3																															
架設質量	t	81.0	80.8	80.8																															
型枠	m2	155.8	155.8	155.8																															
PC鋼より線	kg	1197.7	1197.7	1197.7																															
足場設置月数	月	2	2	2																															

	<p>6. 配布資料の（参考資料）参考図面 1 式 全 3 葉之内 3 号 架設計画図（参考図）の工程表では架設工における架設機器供用日数が 36 日となっておりますが、A1 側からの架設機材の設置が可能と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>7. 架設機器（ガーター等）の搬入について、現場への進入口をご教示願います。</p> <p>8. A1 及び A2 橋台背面の盛土の形状が判りません。検討できる図面をご提示願います。</p> <p>9. 主桁のコンクリートについて、設計書にはコンクリート配合が 40-8-25 (20) とありますが、コンクリート配合を 40-12-25 (20) に協議できますでしょうか。</p>	<p>6. 別紙 3 のとおり、A1 側からの架設機材の設置が可能です。</p> <p>7, 8. 現在、橋台背面盛土及び進入口の盛土工事（別紙 3, 4 の緑色部分）を実施しており、令和 6 年 7 月末に工事完了予定です。架設機器の搬入については、別紙 3 の平面図をご参照ください。また、橋台背面の盛土の形状については別紙 4 の縦断図をご参照ください。</p> <p>9. 施工の際に疑義が生じた場合は、土木工事共通仕様書「1-1-1-15 設計図書の変更」に基づき発注者と事前協議をお願いします。</p>
5/16	<p>1. 架設機械器具経費について 2024 年 4 月 22 日付けの質問、回答において架設桁重量が G1、G5 桁は 81.0 t G2～G4 桁は 80.8 t と回答を頂いております。 発注図書（参考資料）代価表の桁吊装置設備損料および横取り・引出し設備損料の 定格荷重が 392.3 k N (40 t) × 2 基 (80 t) となっております。 定格荷重 (80 t) に対して架設重量 (81.0 t) となり定格荷重を超えております。</p>	<p>1. 代価表の表記が間違っていますので、修正したものを提示します。 (別紙（参考資料）代価表（修正）)</p>

	本件契約に至った際、設計変更の対象となりますでしょうか。	
--	------------------------------	--